

令和元年度第3回伊勢市まち・ひと・しごと創生会議 議事要録

◆日時 令和2年1月16日(木) 19:00~20:15

◆会場 伊勢市役所東庁舎 4-3 会議室

◆出席委員

酒徳 雅明委員、福村 伝史委員、中村 基記委員、米澤 尚之委員、齋藤 平委員、
加藤 徹也委員、廣島 朗委員、山下 智史委員、秋山 則子委員

◆欠席委員

山本 誠委員、北村 和也委員、前澤 謙行委員、松山 泰久委員、山川 一子委員、
安藤 大作委員

◆出席職員

情報戦略局【情報戦略局長、情報戦略局参事兼企画調整課長、同副参事、同課長補佐、
同主査2名、情報戦略局参事兼情報政策課長、同課調査統計係長】

環境生活部【市民交流課長、同副参事】

教育委員会【学校教育課長、教育研究所長】

健康福祉部【健康課長、こども課長、高齢者支援課長、障がい福祉課長】

産業観光部【商工労政課長、同課副参事、農林水産課長、同課長補佐、観光振興課長、
観光誘客課長】

都市整備部【都市整備部参事兼建築住宅課長、同課副参事、交通政策課長】

◆内容と結果

1 前回の振り返り

2 パブリックコメントの結果について(事務局説明①・質疑なし)

3 第2期伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について(事務局説明②)

⇒ ハローワーク伊勢や市内高等学校との連携について計画に明記する方が良いと
いう意見、また、KPIの表記方法をわかりやすく整理するべき、などの意見を得
て、計画案について適当である旨、承認された。

4 答申について

⇒ 会長から示された答申素案が確認され、承認された。また、答申について、会長
から市長に提出する旨、承認された。

◆会議録(要録)

以下の要録は、事務局により要旨を編集したものですので、微妙なニュアンス等が表現され
ておりませんので、ご了承ください。

【事務局説明②に対する質疑】

・2ページの多様な人材の活躍を支援する、というところで、NPOの現場では高齢化が進
み、NPOがなくなっていくと思っている。これからはまちづくり協議会をあてにしてい

と良いのではないかと考えている。

・ 基本的な考え方に2点が追加されたが、それを受けて施策の基本的方向等にはどのように反映されたのか。

⇒ 施策の基本的方向等にはあらかじめ盛り込み済みであるが、計画全体に及ぶ考え方として改めて盛り込んだもの。

・ 先ほどまちづくり協議会、という話が出たが、まちづくり協議会は高齢化ではなく高齢からスタートしており、どこのまちでもそのような状態なのではないかと感じている。

・ 大学に自治会からオファーをいただいて活動している事例もあり、若い力を活用することで活性化が図れるのではないかと考える。

・ 他の地域で企業誘致に関してハローワークと連携した事例もある。移住支援は丁寧な相談窓口が大事だが、その過程で仕事と住む所が必要。若者の定着には、高校生の地元への就職も重要。圏域で取り合うのではなく、伊勢市が主導してそういう具体的な施策に取り組んでもらうと良い。男女共同参画もあるし、様々な面で連携を。

・ 成人式の機会を活用するようなことも考えた方が良い。

・ 令和2年度から新たな事業を加えていく場合には、この計画に加えていくようなことになるのか。ローリングしていくのか。

⇒ ローリングして必要に応じて見直ししながら進行管理していく。

・ 生徒にアンケートを取ると、「伊勢市は好きだ」という数字と「地元で就職したい」という数字にすごく乖離がある。就職する高校生が少なくなっていることもある。各高校においても、地域と一緒に取り組みたい、アクティブラーニングの機会も取り入れたいという形で考えており、高校も含めた教育機関とも連携を密に、取り組んでいくという部分も盛り込まれると良いし、地元がいい所、いい企業があるということを知ってもらう機会をなるべく作っていくと良い。

・ 基本的視点で人口ビジョンで明らかになった課題を掲載してもらったことで、課題からの流れがわかりやすくなったが、基本目標の順番も課題に合わせて入れ替えると、流れがよりわかりやすくなるのではないかと考える。

⇒ 国の戦略を参考に構成している点も踏まえ、今回は現在の構成のままとしたい。

・ 基本的な考え方は、どこの都市でもそんなに変わらないものになってくると思う。伊勢

の計画は何が他の都市と違うのかな、と考えていくと、「新しい人の流れを作る」の部分、人口以上の方が訪れるというのが他の地方都市と大きく違う部分。大事なのは、ここに書かれたことをどういう風に施策に反映していくか、目標を達成していくかになると思う。

KPI で、目標値が「令和 6 年度末」と書いてあるものはわかるが、「令和 6 年度実績」と書いてあるのと「累計」と書いてあるものがあり、区別がわからない。統一してもいいものなら統一した方がスッキリするし、見た人にわかりやすくすべき。

⇒整理して修正する。

計画について、国の補助メニューが出て、それを受けて計画に反映させたという実績はあるのか。

⇒これまで交付金をなかなか活用できていなかった実情があり、交付金の活用について基本的な考え方にも書かせていただき、活用できるよう進めていきたい。